

PCSAアクションレポート（理事会）

平成29年2月版

2月通常理事会	
開催日時	2017年2月20日（月） 12時～13時30分
開催場所	TKPガーデンシティPREMIUM神保町 3階「フォレスト」
出席者	金本 朝樹代表理事
	森 治彦副代表理事・加藤 英則副代表理事・齊藤 周平副代表理事
	合田 康広理事・荒籾 伸一理事
	城山 稔央理事（代理出席：城山 朝春氏）・中島 基之専務理事（8名）
	宮村 伸輔監事
	佐藤 公平モデレーター、牛島 憲明アドバイザー、藤田 宏アドバイザー
討議事項	第1号審議議案 「賛助会員 休会」 審議【承認】
	当件について事務局より説明があった。休会届け出があったのは、賛助会員のトキハ産業株式会社。
	第2号報告議案 「第15期第3回臨時社員総会・第59回PCSA公開経営勉強会」 報告
	当件について事務局より説明があった。本日14時から15時まで第3回臨時社員総会を開催。本総会にて、第1号議案で賛助会員2社の入会審議がある。他は報告議案。
	公開経営勉強会は日遊協、同友会、余暇進の後援をいただいている。出席者は正会員53名、賛助会員53名、アドバイザー業界誌24名、ご招待117名、一般（有料）8名。ホール関係は20社37名。メーカー関係は11社24名の参加。UAゼンセン3名。今回、公開経営勉強会を開催にあたり921件の案内をした所、今の参加人数となった。
	第3号報告議案 「平成29年PCSA新年賀詞交歓会出席者」 報告
	当件について事務局より説明があった。正会員31名、賛助会員32名。政治分野アドバイザー・秘書の方が45名。アドバイザー・事務局で8名。政治分野アドバイザー本人の参加は自民党は原田義昭議員、山口泰明議員、櫻田義孝議員、江島潔議員、秋元司議員。民進党は松野頼久議員、鈴木克昌議員、牧義夫議員、小宮山泰子議員、泉健太議員、石関貴史議員、木内孝胤議員、初鹿明博議員、羽田雄一郎議員。日本維新の会で馬場伸幸議員、浦野靖人議員、遠藤敬議員。無所属で鈴木貴子議員の出席があった。

討議事項

第4号報告議案 「依存問題対策推進会議」報告

当件について事務局より説明があった。まず、2月9日に第1回目の「依存問題対策推進会議」が開催された。次いで2月10日、6団体が警察庁課長補佐に呼ばれ6点の指示を受けた。その内業界として取るべき対策は以下の3点であった。

①リハビリサポート・ネットワーク機能の充実

相談員の増員、相談時間の延長等への即時対応は難しく、対案として提案されたのは、ホールで日々クレーム対応をしている担当者の役割を広げた「依存対策相談員（仮称）」を全ホールに置くという案だった。厚生労働省が全国67カ所に設置している精神健康福祉センターに確実につなぐよう指導教育を徹底したいと補足された。また自由に持ち帰れるリーフレットの作成も提案された。

②過度な遊技を抑制する一般的仕組みの構築（自己申告プログラムの改善）

本人だけではなく家族も登録できる自己申告プログラムとし、かつ使用金額だけでなく遊技回数、時間についても組み込める様に検討しアクションプランを2月24日までに作成する事となった。

③遊技機性能の表示機能と管理遊技機の検討。

今後パチンコは納品時に目視では無く器具を使って検定時と同様の性能を確認する。早いメーカーで3月、全メーカーは5月には対応する。またパチンコも性能表示を今年の10月までに対応したいとの事。表示内容はベースになる予定。管理遊技機については詳細未定であるが年内には概要が固まるとの見通し。一方、スロットは管理遊技機に関してはパチンコの仕組みに合わせ、性能表示については既に準備ができています。

第5号報告議案 「健全化推進機構 実務者連絡会」報告

当件について事務局より説明があった。3月7日の機構臨時社員総会において議案は2つ、①平成29年度の事業計画、②経費負担について。なお、ホールの負担は台当り50円になる見込み。

その他の内容として、③機構では依存問題の対応をしないという意味表明。依存問題の対策は、誓約書にも規約にもないのですぐの対応は難しい、との事。次に④遊技機性能の調査結果の行政通知を2月最終週から解除する予定との事。通報の基準は「まだ確定していないが、基準は検定機かどうか」との事。

第6号報告議案 「新基準に該当しない遊技機 設置アンケート」報告

当件について事務局より説明があった。スロットの話で、行政の意向を受けた6団体（全日遊連、日遊協、日工組、日電協、全商協、回胴遊商）から、全日遊連に非加盟でPCSAに加盟している店舗の「新基準に該当しない遊技機」の設置比率の調査をお願いした。PCSA会員で該当店舗は9社267店舗で251店から回答をいただいた。その中で50%超の店舗は2店舗であった。

第7号報告議案 「回胴式遊技機 役比モニタ設置開始」報告

当件について事務局より説明があった。10月から発売のスロットの5.9号機全機、今後発売の一部の5.5号機では役比モニタが搭載される。役比モニタでは「有利区間」「連続役物比率」「役物比率」が表示される。主な目的は不正防止で、モニターで範囲外の表示があれば異常の可能性があるためメーカーに連絡をして欲しいとの事。なお、正規の機械で数値は範囲外になる可能性は1万分の1も無く非常に低いとの事。

討議事項	第8号報告議案 「遊技機での上映等の管理開始（JASRAC）」報告
	<p>当件について事務局より説明があった。2月10日にジャスラックが来所し説明があった。2017年1月よりパチンコ・パチスロ遊技機1台当たり1曲につき80円の支払いが始まる。ホールでは無くメーカーが支払う。なお、経過措置として2017年は50円、2018年は60円、2019年は70円で2020年から80円となる。</p>
	「その他」
	・PCSAスケジュール
	次回開催
	平成29年3月23日(木)
	3月拡大理事会 午後4時～5時30分
	PCSA会議室にて